

脚立からの 転落災害を なくすには!!

守るべき基本を学ぶ



一般社団法人 軽仮設リース業協会

Scaffolding and Construction
Materials Leasing Association

〒101-0052

東京都千代田区神田小川町3-6NKビル7階

TEL 03-3293-3148

FAX 03-3293-3207

2016-3-8,000



一般社団法人
技術安全部会

軽仮設リース業協会
専門委員会 脚立等グループ

目 次

- 1. 脚立使用時の事故データ 2
- 2. 脚立に係る災害事例と正しい使い方 4
- 3. 脚立の各部名称と使用前安全点検 14
- 4. その他の注意事項 18

1. 脚立使用時の事故データ

手軽に使用している脚立の死傷事故が非常に多い。
手軽さゆえの安全意識の希薄が原因です。

脚立は、2 m以上の高所作業とは異なり、1 m～2 m程度の高さの作業を行うには、手軽に持ち運びができるなど、非常に便利な作業台です。

しかし一方では、その簡易さのため安全に対する意識が薄くなり、僅か1 m未満しかない高さの脚立から転落し、死亡あるいは重篤な災害になった例が多数あります(事故統計データ①参照)。

また、脚立は、一般家庭のみならず建設現場でも多く使用されていますが、いずれの事故原因も「誤った使用方法」によるものが殆どです(事故統計データ②参照)。

私達、一般社団法人 軽仮設リース業協会会員各社は、脚立等の製造及びレンタル業者として、作業現場での墜落・転落事故をゼロにすることが最大のテーマです。

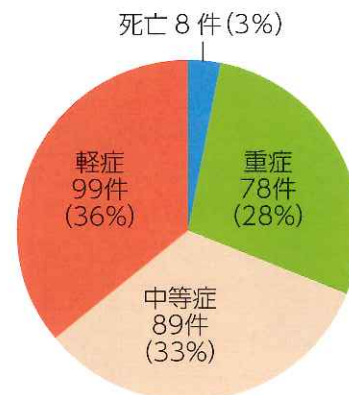
頻発している脚立からの転落事故を防止するため、改めて「脚立の正しい使用方法」と「誤った使用方法による事故事例」の紹介、また「使用前点検のポイント」を周知していただくために、本冊子を作成しました。

今一度「脚立作業時に注意すること」をご確認いただき、事故のない安全な作業現場を実現して戴きたいと存じます。

本冊子が、労働災害防止の一助となれば幸いです。

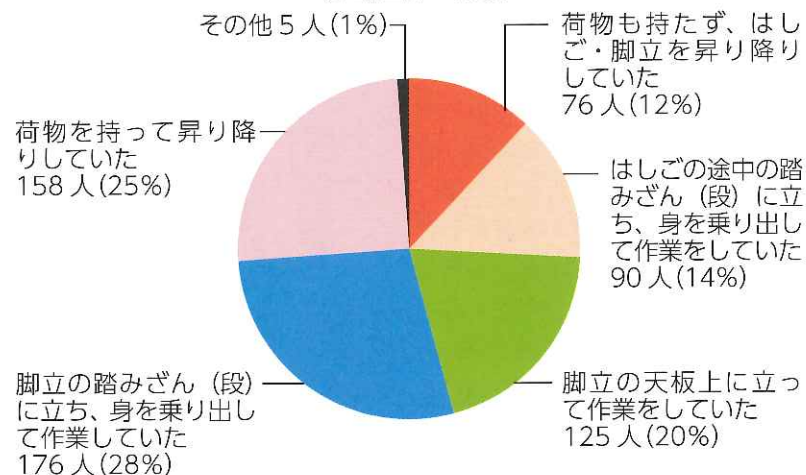
事故統計データ①

(危害の程度)



事故統計データ②

(事故直前の行動)



2. 脚立に係る災害事例と正しい使い方

No. 1

天板からの転落事故

木造一戸建ての工事現場で、脚立の上に乗る玄関庇外側の下地板の貼り付け作業中、バランスを崩し、高さ1.1mの脚立の**天板から後ろ向きに転落**した。



No. 2

天板からの転落は現場により大事故になる

マンションの階段の5階と6階の踊り場において、高さ85cmの脚立を用い天板上に乗って蛍光灯を取替える作業中、当該脚立から転落した。この際、高さ120cmある踊り場の腰壁を越え、約12mの地面に墜落した。



No. 3

大きい物、重い物の取り付けや取り外し作業は体のバランスが崩れ易いので死亡事故が起こりやすい

施設内、休業中のレストランの改装工事において、壁に取り付けていたテレビ(46型)を取り外すため脚立の天板に乗り作業をしていたところ脚立から転落した。災害発生の20日後に容態が急変し死亡した。



良い例



○ 天板に立たない

悪い例



✕ 天板に立つ

No.
4

足の踏み外し墜落事故

高さ2.4mの脚立を用いて高さ1.7mの踏板上に乗り、高さ3.3mの天井付近に固定された排水管を切断し、取り外す作業に従事していた。固定されていた金具から取り外した排水管を床面におろすため、踏板を一段おりた際、足を踏み外しこの排水管を抱きかかえるような姿勢で約1.4m墜落した。



良い例



○ 手に荷物を持たない

悪い例



✕ 荷物を持つての昇降
安定性が得られない

No.
5

脚立とともに転落事故

高さが足りないため、脚立を台の上に設置し、看板を取り外す作業をしていたところ、不安定でぐらつき、脚立とともに転倒し、頭部を地面に強打した。



良い例



○ 段差を避け平地での使用

悪い例

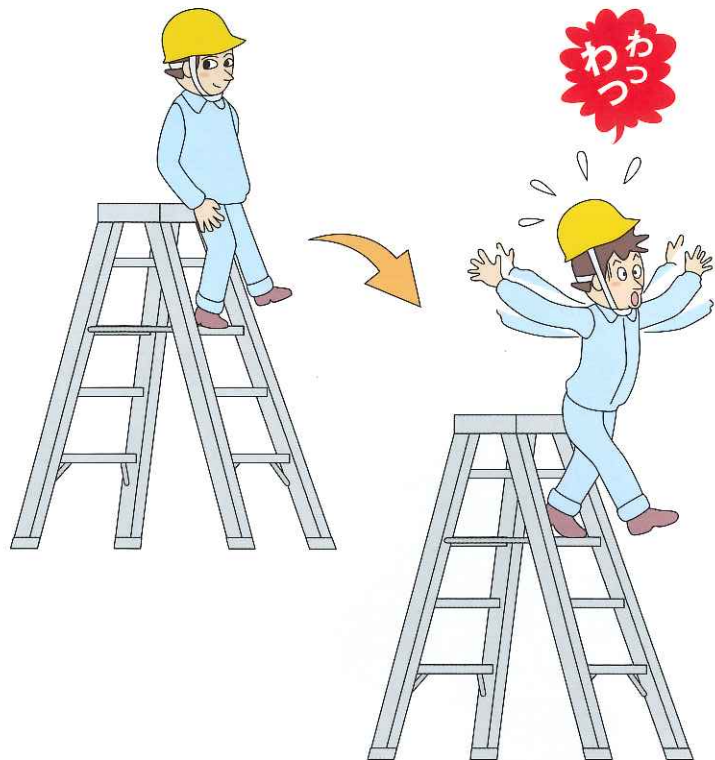


✕ 段差のある場所での使用
段差のある場合は伸縮式脚立を使用する

No.
6

足を滑らしての転落事故

脚立での作業が終わり、後ろ向きに脚立を下りようとした際に足を滑らせて落下した。



脚立を背にしたり、手放しで昇り降りしない。
※身体が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

No.
7

身体の乗り出しによる死傷事故

駐車場において、高さ約1.8mの脚立を使用し、看板の固定作業中、身を乗り出した際に墜落し、頭部をアスファルトの地面で強打し、2日後に死亡した。脚立を設置した地面が碎石敷きで、脚元がぐらついていた。



良い例



○ 身体を乗り出さない

悪い例



✕ 身体を乗り出して使用
身体のバランスを崩しやすく危険

No.
8

不安定な体勢での作業は 現場環境によっては死亡事故になる

被災者は、建物間を結ぶ歩廊に防風・防雪用のネットを取り付けるため、脚立上で作業を行っていたところ、不安定な体勢であったため風でバランスを崩し地面に落下した。その際、脚立の足で腹部若しくは胸部を強打し、3日後に死亡した。



良い例



○ 身体を乗り出さない

悪い例



✕ 身体を乗り出して使用
身体のバランスを崩しやすく危険

No.
9

脚立に跨がっての作業は バランスが崩れ易いので危険

脚立にまたがって作業中、バランスを崩し、脚立ごと倒れ右足を骨折した。



良い例



○ 脚立にまたがらない

悪い例

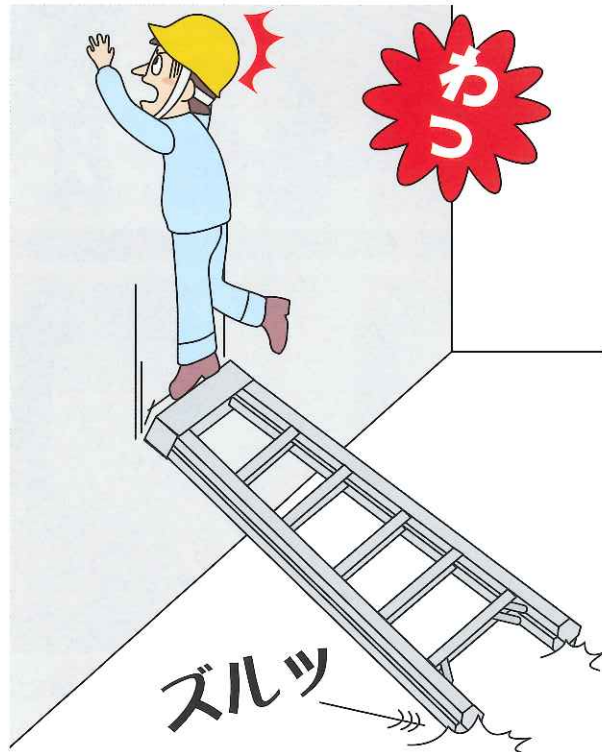


✕ 脚立にまたがる
身体のバランスを崩しやすく危険

No.
10

脚立を梯子替わりに使うのは危険です
要注意

脚立を折り畳んだまま梯子替わりに使用。脚立の足元が滑り、作業員が落下した。



悪い例



× 閉じたままでの
使用

3. 脚立の各部名称と使用前安全点検

天板

回転金具

- ・左右のヒンジの緩みやガタはないか
※あれば使用不可
- ・開閉はスムーズか
※スムーズでなければ調整する

支柱

- ・曲がり・ねじれ・へこみがないか
※あれば使用不可

開き止め金具

- ・確実にロックできますか
※ロックできない場合使用不可

踏ざん

- ・グリース・油等滑りやすい付着物はないか
※あれば拭き取る
- ・曲がり・へこみがないか
※あれば使用不可

補強金具

- ・曲がりなどの変形がないか

滑り止め端具

- ・外れたり、すり減ったりしていないか
※あれば使用不可

全体的に

- ・各部接合部に割れや著しい腐食がないか
取付け部品の破損や脱落等はないか
- ・リベット・ねじ・ピンなどの緩みや脱落はないか
- ・踏ざん等にガタツキがないか
※異常があるものは使用禁止

● 日常点検表の例

点検箇所	点検事項 良○ 否× 是正済△
天板及び踏ざん	☐ 亀裂 ☐ 曲がり ☐ ねじれ ☐ へこみがないか ☐ グリース、油、ペンキなど滑りやすい物の付着がないか
支 柱	☐ 亀裂 ☐ 曲がり ☐ ねじれ ☐ へこみがないか
開き止め金具	☐ 破損 ☐ 曲がり ☐ ねじれ ☐ へこみがないか ☐ グリース、油、ペンキなどの滑りやすい物の付着がないか ☐ 確実にロックできているか

点検箇所	点検事項 良○ 否× 是正済△
回 転 金 具	☐ 破損 ☐ 曲がり ☐ ねじれ ☐ へこみがない ☐ スムーズに開閉できるか ☐ 泥、セメント、ゴミ等の噛み込みがないか ☐ ゆるみやガタツキがないか
回 転 金 具	☐ 割れや腐食がないか ☐ 取付け部品の破損、脱落、変形、摩耗、腐食がないか ☐ リベット、ボルトのゆるみ、抜け落ちがないか
滑り止め端具	☐ 脱落や摩耗がないか
全 体	☐ 全体のガタツキがないか

4. その他の注意事項

1. 設置場所について

- 平坦で安定した場所、滑りにくい場所、また脚立が沈下しない場所を選んで設置してください。
- 雨や水のかからない場所、強い風を受けない場所に設置してください。
- 脚立の周囲に危険な物がなく、バランスの良い作業姿勢で使える位置に設置してください。
- 設置後は脚立にガタツキがないか確認し、ある場合は脚立の位置を移動してガタツキを取り除いてください。



2. 脚立の組み立て・収納の仕方

脚立が3m以上や重い場合は、2人で行ってください。

- ① 脚立を折りたたんだ状態のまま、床面に寝かせて置いてください。
- ② 脚立の天板を持ち上げて、踏ざんを持ち変えながら起こしてください。
- ③ 片面の支柱を図のように両手で持ち上げながら、脚立を開き設置します。

